

2008年1月27日

様

子守唄の里・五木を育む清流川辺川を守る県民の会  
他川辺川ダム建設に反対する52住民団体

代表 中島 康

連絡先〒860-0073熊本市島崎4-5-13

電話090-2505-3880、096-324-5762

## 川辺川ダム問題に対する考えを伺う公開質問状

新年を迎え、いよいよ熊本県知事選挙の年となりました。立候補を予定されている方々も、日々大変な思いで奮闘されていることと察します。

今回の知事選挙は、マスコミ報道などを見ても川辺川ダム問題が最大の争点となっています。熊本県民から見てみますと、川辺川ダム問題に対する候補者の態度については、下記のような点が問われていると考えます。

- ① 国交省は昨年5月に策定した球磨川水系河川整備基本方針を「くまがわ・明日の川づくり報告会」で53の会場で流域住民・熊本県民に説明してきました。報告会では、既存ダムの水害に苦しむ住民を始め流域住民からダムに対する疑問・反対の意見やダム以外の水害対策を望む声が多数出されました。川辺川ダム建設を求める意見は、全くといってよいほど出されませんでした。またマスコミ等の世論調査を見ても「ダム反対」が「ダム賛成」を大きく上回っています。このような状況において熊本県知事候補が選挙戦において、川辺川ダム問題についてあいまいな態度で臨むのであれば、混乱を今後も増大させようとする態度だと言わざるを得ません。
- ② 球磨川水系河川整備方針策定のための検討小委員会には、地元人吉やその他の地区の各団体から、または個人として常に8人～10人の人たちが、傍聴にかけつけました。10回にわたって検討小委員会を通して最も強く感じられたことは、国交省が任命した（御用学者と言わざるを得ない）ほとんどの委員は国交省の見解を追認するばかりでした。このことから考えれば、第三者委員会などを設置してダム問題を検討させるとなどというのは、全くのごまかしにすぎません。国交省の入れ智恵とさえ思われます。このような点をふまえれば、熊本県民の代表になろうという知事候補におかれましては、川辺川ダム問題に対する態度を堂々と明らかにしたうえで選挙戦に望むべきであります。またそのことが、熊本県民への責任ある態度だと思えます。

以上のようなことから別紙にあるような2点につきまして、貴殿の考えを伺いたいと思いますので、別紙（質問・解答用紙）に記入のうえ下記のところまでお送りください。まことに忙しい中かとは存じますが、熊本県民にとって納得のいく選挙となりますようご協力よろしくお願ひします。なお当方の質問状ならびにお寄せいただいた回答については、マスコミ各社に報告させていただきますのでご了承ください。

※(質問・解答用紙)の送り先 (郵送) 〒860-0073熊本市島崎4-5-13中島康  
(FAX) 096-354-2966

(質問・回答用紙)

**1. あなたは川辺川ダム建設に「賛成」ですか「反対」ですか。理由もつけて明確にご回答ください。**

**2. 川辺川ダム問題をどのように解決していこうとお考えですか。**